

# ガレノキサシンの使用成績調査および特定使用成績調査による安全性および有効性の検討 —併合解析による高齢者の安全性および有効性を中心にして—

高木 宏育<sup>1)</sup>・松本 喜彦<sup>2)</sup>・堀 誠治<sup>3)</sup>・渡辺 彰<sup>4)</sup>・河野 茂<sup>5)</sup>

<sup>1)</sup> 富山化学工業株式会社クリニカルサイエンス部（富山）

<sup>2)</sup> 同 クリニカルサイエンス部

<sup>3)</sup> 東京慈恵会医科大学感染制御科

<sup>4)</sup> 東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門

<sup>5)</sup> 長崎大学、長崎大学医学部第二内科

受付日：2017年12月25日 受理日：2018年7月13日

ガレノキサシン（GRNX）の再審査期間に実施した使用成績調査および3つの特定使用成績調査で得られた結果を併合解析し、特に高齢者での安全性および有効性について検討した。

65歳以上の高齢者での副作用発現率は4.75%（130/2,739例）で、副作用発現率に影響を及ぼす患者背景は、入院・外来、感染症診断名、投与前の肝機能障害の有無、投与前の腎機能障害の有無、アレルギー歴（薬剤）、GRNX投与直前の抗菌薬治療の有無、および併用抗菌薬の有無であったが、いずれの患者背景でも特段に発現頻度が高い副作用はなかった。高齢者での副作用の種類および発現率は非高齢者と比べて大きな相違はなかった。

高齢者の投与終了・中止時の有効率は93.9%（2,345/2,498例）で、いずれの呼吸器および耳鼻咽喉科領域感染症に対しても90%以上であった。また、肺炎治療において成人肺炎診療ガイドライン2017で、GRNXが推奨されている基礎疾患・合併症として慢性呼吸器疾患有する患者および誤嚥のリスク因子を有する患者に対する有効率は、それぞれ90.5%（363/401例）および90.1%（173/192例）であった。

以上、GRNXはレスピラトリーキノロンとして、呼吸器および耳鼻咽喉科領域感染症の治療において、高齢者に対しても有用性の高い薬剤であることを確認できた。

**Key words:** garenoxacin, postmarketing surveillance study, elder patients, safety, efficacy

## はじめに

ガレノキサシン（GRNX）は、富山化学工業株式会社で創製されたdes-F(6)-quinolone系抗菌薬で、多剤耐性肺炎球菌を含む呼吸器および耳鼻咽喉科領域感染症の主要原因菌ならびに非定型肺炎に対する

幅広い抗菌スペクトルと優れた抗菌活性を有する<sup>1)</sup>。1日1回投与で大きいarea under the blood concentration time curve (AUC)<sup>2)</sup>が得られ、また良好な組織移行性<sup>3,4)</sup>を示す。GRNXの用法・用量は、抗菌活性、薬物動態および耐性変異株出現阻止濃度(mutant prevention concentration : MPC)を加味

Safety analysis population <sup>a</sup>		7,283
Postmarketing study		6,413
Specified postmarketing study	Bacterial pneumonia	730
	Atypical pneumonia	105
	Legionella pneumonia	36
Efficacy analysis population <sup>a</sup>		6,710
Postmarketing study		6,072
Specified postmarketing study	Bacterial pneumonia	535
	Atypical pneumonia	72
	Legionella pneumonia	32
Efficacy analysis population with pneumonia		2,029
Postmarketing study		1,422
Specified postmarketing study	Bacterial pneumonia	535
	Atypical pneumonia	72
Reason for Exclusion <sup>b</sup>		
Non-target disease		84
Lost to follow-up		261
Not evaluated for clinical efficacy		125
Contraindication		9
Dosage deviation		13
Not evaluated for clinical efficacy (Legionella pneumonia)		3
Inclusion or Exclusion criteria deviation		105
Reason for Exclusion <sup>b</sup>		
Non-pneumonia		4,649
Legionella pneumonia		32

<sup>a</sup> One patient was enrolled in both the postmarketing study and Legionella pneumonia study<sup>b</sup> Including patients with duplicated reasons for exclusion

Fig. 1. Distribution of patients

した pharmacokinetics/pharmacodynamics (PK/PD) の観点から、常用量を 400 mg 1 日 1 回投与と設定された。

GRNX は 2007 年 10 月の発売から 10 年を経過しており、3,000 万人以上の呼吸器および耳鼻咽喉科領域感染症患者に使用され、レスピラトリーキノロンとして高い評価を得ている<sup>5~8)</sup>。使用実態下での安全性および有効性を検討するために、再審査期間中（2007 年 7 月～2015 年 7 月）に使用成績調査および 3 つの特定使用成績調査（細菌性肺炎を対象とした調査、非定型肺炎を対象とした調査、レジオネラ肺炎を対象とした調査）（以下、4 調査）を実施した。レジオネラ肺炎を対象とした調査についてはレジオネラ肺炎が散発的であり、プロスペクティブに症例を取集することが困難であることからレトロスペクティブに収集した。4 調査の結果および 8 年間の再審査期間中に収集された副作用自発報告等に基づいて 2015 年 10 月に再審査申請を行い、2017 年 3 月に再審査結果として、カテゴリー 1（承認された効能・効果、用法・用量で有効性・安全性が認められる）を得た。

これまでに 4 調査の結果について、それぞれ公表しており<sup>9~12)</sup>、今回これらの結果を併合解析し、GRNX の安全性および有効性を検討し、特に高齢者での安全性および有効性について検討した。

また、成人肺炎診療ガイドライン 2017 では肺炎

の外来患者に対して、GRNX は慢性呼吸器疾患有する患者<sup>13)</sup>、および院内肺炎/医療・介護関連肺炎 (HAP/NHCAP) のエンピリック治療で外来治療が可能な患者<sup>13)</sup>に対して推奨されている。しかしながら、使用実態下でのエビデンスが少なく、特に高齢者での情報が不足していることから、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) などの慢性呼吸器疾患有する患者、および意識障害、脳血管障害、胃食道疾患などの誤嚥のリスク因子を有する患者に発症した肺炎に対する GRNX の有効性を検討した。

なお、4 調査は「医薬品の製造販売後の調査及び実施の基準に関する省令」（平成 16 年 12 月 20 日厚生労働省令第 171 号）およびその他関連法令を遵守して実施した。

## I. 材料と方法

### 1. 解析対象の構成

GRNX の再審査申請に使用した 4 調査の結果を併合解析し、安全性および有効性について検討した。すなわち、安全性解析対象は 7,283 例（使用成績調査 6,413 例、特定使用成績調査では細菌性肺炎 730 例、非定型肺炎 105 例、レジオネラ肺炎 36 例、ただし、レジオネラ肺炎の 1 例は使用成績調査と同一症例）で、そのうち 65 歳以上の高齢者は 2,739 例で全体の 37.6% (2,739/7,283 例) であった (Fig. 1)。

有効性解析対象は 6,710 例（使用成績調査 6,072 例、特定使用成績調査では細菌性肺炎 535 例、非定

型肺炎 72 例、レジオネラ肺炎 32 例)で、そのうち高齢者は 2,567 例で全体の 38.3% (2,567/6,710 例) であった。

レジオネラ肺炎を除く肺炎に対する有効性解析対象は 2,029 例 (使用成績調査 1,422 例、特定使用成績調査では細菌性肺炎 535 例、非定型肺炎 72 例) で、そのうち慢性呼吸器疾患あるいは 619 例 (30.5%)、誤嚥のリスクあるいは 247 例 (12.2%) であった。

## 2. 評価項目と評価方法

### (1) 安全性判定

GRNX との因果関係にかかわらず、調査の観察期間中に発現した医学的に好ましくないまたは意図しない徴候(臨床検査値の異常変動、自他覚症状等)を有害事象とし、そのうち GRNX との因果関係が否定できないものを副作用とした。なお、GRNX の効果不十分による対象疾患の悪化は有害事象から除外した。

有害事象データは、ICH 国際医薬用語集日本語版 MedDRA/J (Ver.18.0) を使用した。

### (2) 感染症重症度判定

担当医師が GRNX 投与前の患者の症状・所見および臨床検査値より「軽症」、「中等症」および「重症」で判定した。

### (3) 有効性判定

担当医師が投与終了・中止時の有効性を判定した。使用成績調査では自他覚所見および臨床検査値の推移により「有効」、「無効」および「判定不能」で判定した。特定使用成績調査(細菌性肺炎、非定型肺炎)では、日本化学療法学会による「呼吸器感染症における新規抗菌薬の臨床評価法(中間報告)」<sup>[14]</sup>を参考に、「有効」、「無効」および「判定不能」で判定した。特定使用成績調査(レジオネラ肺炎)では、治療に対する効果は日本化学療法学会による「呼吸器感染症における新規抗微生物薬の臨床評価法(案)」<sup>[15]</sup>を参考に、「有効」、「無効」および「判定不能」で判定し、再燃予防に対する効果は担当医師が「有効(再燃なし)」、「無効(再燃あり)」および「判定不能」で判定した。

## 3. 統計解析

副作用発現率および有効率に影響を及ぼす要因を特定するため、Fisher の直接確率法(有意水準は両側 5%)を用いて、各患者背景因子のカテゴリー間で副作用発現率および有効率を比較した。ただし、

カテゴリー数が多く Fisher の直接確率法で計算困難な場合は  $\chi^2$  検定を用いた。統計解析ソフトウェアは SAS<sup>®</sup> (Ver. 9.2) を用いた。

富山化学工業株式会社より委託を受けた株式会社アスクレップおよびシミック株式会社で、データマネジメントおよび集計・解析業務を実施し、必要に応じて富山化学工業株式会社で追加解析を実施した。

## II. 結果

### 1. 高齢者の安全性

#### (1) 副作用発現状況

高齢者での副作用発現率は 4.75% (130/2,739 例)、非高齢者では 3.54% (161/4,543 例) であった (Table 1)。高齢者での発現率 0.1% 以上の副作用は、肝機能異常 0.62% (17/2,739 例)、下痢 0.58% (16/2,739 例)、発疹 0.40% (11/2,739 例)、血圧低下 0.26% (7/2,739 例)、白血球数減少 0.22% (6/2,739 例)、高血糖および肝障害が各 0.18% (5/2,739 例)、血中ブドウ糖增加 0.15% (4/2,739 例)、貧血、薬疹、腎機能障害、血中尿素增加および好酸球数増加が各 0.11% (3/2,739 例) であった。非高齢者での発現率 0.1% 以上の副作用は、下痢 0.42% (19/4,543 例)、肝機能異常 0.40% (18/4,543 例)、発疹 0.35% (16/4,543 例)、アラニンアミノトランスフェラーゼ増加が 0.22% (10/4,543 例)、肝障害および白血球数減少が各 0.18% (8/4,543 例)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加 0.15% (7/4,543 例)、上腹部痛および薬疹が各 0.13% (6/4,543 例)、尋麻疹 0.11% (5/4,543 例) であった。高齢者と非高齢者で副作用の種類および発現率が大きく異なることはなく、高齢者で特に留意すべき副作用はみられなかった。

#### (2) 安全性に影響を及ぼす患者背景

##### 1) 患者背景

高齢者の患者背景因子のカテゴリー別の割合は、入院が 13.18% (361/2,739 例) で、非高齢者の 4.14% (188/4,543 例) より高く、感染症別では肺炎、および慢性呼吸器病変の二次感染がそれぞれ 41.84% (1,146/2,739 例) および 13.73% (376/2,739 例) で、非高齢者のそれぞれ 25.84% (1,174/4,543 例) および 3.85% (175/4,543 例) より高かった (Table 2)。一方、高齢者では副鼻腔炎および扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)がそれぞれ 3.91% (107/2,739 例) および 3.07% (84/2,739 例) で、非高齢者のそれぞれ 17.61% (800/4,543 例) および 13.82%

Table 1. Incidence of adverse drug reactions (ADRs)

	Up to approval	Postmarketing study and specified postmarketing study		
		Overall	Elderly <sup>a</sup>	Non-elderly <sup>a</sup>
No. of patients in the safety analysis population	702	7,283	2,739	4,543
No. of patients with ADRs	292	291	130	161
No. of ADRs	572	366	156	210
Incidence rates of ADRs (%)	41.60	4.00	4.75	3.54
Category of ADRs		No. of patients and incidence rates of ADRs (%)		
Infections and infestations	5 (0.71)	3 (0.04)	2 (0.07)	1 (0.02)
Gastroenteritis	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Gastroenteritis clostridial	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Nasopharyngitis	2 (0.28)	—	—	—
Pharyngitis	1 (0.14)	—	—	—
Pneumonia staphylococcal	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Pseudomembranous colitis	1 (0.14)	—	—	—
Oral herpes	1 (0.14)	—	—	—
Blood and lymphatic system disorders	—	9 (0.12)	4 (0.15)	5 (0.11)
Anaemia	—	4 (0.05)	3 (0.11)	1 (0.02)
Eosinophilia	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Leukopenia	—	4 (0.05)	—	4 (0.09)
Thrombocytopenia	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Metabolism and nutrition disorders	6 (0.85)	13 (0.18)	9 (0.33)	4 (0.09)
Dehydration	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Glucose tolerance impaired	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Hyperglycaemia	—	5 (0.07)	5 (0.18)	—
Hypoglycaemia	—	3 (0.04)	1 (0.04)	2 (0.04)
Decreased appetite	6 (0.85)	3 (0.04)	1 (0.04)	2 (0.04)
Psychiatric disorders	4 (0.57)	—	—	—
Insomnia	4 (0.57)	—	—	—
Nervous system disorders	30 (4.27)	16 (0.22)	4 (0.15)	12 (0.26)
Ageusia	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Dizziness	6 (0.85)	3 (0.04)	2 (0.07)	1 (0.02)
Dysgeusia	5 (0.71)	2 (0.03)	—	2 (0.04)
Headache	12 (1.71)	3 (0.04)	1 (0.04)	2 (0.04)
Hypoesthesia	3 (0.43)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Hypogeusia	1 (0.14)	—	—	—
Somnolence	6 (0.85)	4 (0.05)	—	4 (0.09)
Tremor	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Visual field defect	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Eye disorders	4 (0.57)	—	—	—
Conjunctival haemorrhage	1 (0.14)	—	—	—
Conjunctivitis allergic	1 (0.14)	—	—	—
Eye pain	1 (0.14)	—	—	—
Eyelid oedema	2 (0.28)	—	—	—
Ocular hyperaemia	1 (0.14)	—	—	—
Eye pruritus	1 (0.14)	—	—	—
Ear and labyrinth disorders	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Ear pain	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Cardiac disorders	7 (1.00)	14 (0.19)	9 (0.33)	5 (0.11)
Atrial fibrillation	1 (0.14)	2 (0.03)	2 (0.07)	—
Bradycardia	2 (0.28)	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Cardiac failure	2 (0.28)	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Extrasystoles	1 (0.14)	—	—	—
Palpitations	1 (0.14)	5 (0.07)	2 (0.07)	3 (0.07)
Sinus arrhythmia	1 (0.14)	—	—	—
Sinus bradycardia	—	2 (0.03)	—	2 (0.04)
Supraventricular extrasystoles	—	2 (0.03)	2 (0.07)	—
Ventricular extrasystoles	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—

(Continued)

Table 1. (Continued)

	Up to approval	Postmarketing study and specified postmarketing study		
		Overall	Elderly <sup>a</sup>	Non-elderly <sup>a</sup>
No. of patients in the safety analysis population	702	7,283	2,739	4,543
No. of patients with ADRs	292	291	130	161
No. of ADRs	572	366	156	210
Incidence rates of ADRs (%)	41.60	4.00	4.75	3.54
Category of ADRs		No. of patients and incidence rates of ADRs (%)		
Vascular disorders	2 (0.28)	5 (0.07)	2 (0.07)	3 (0.07)
Hypertension	—	2 (0.03)	—	2 (0.04)
Hypotension	—	3 (0.04)	2 (0.07)	1 (0.02)
Hot flush	2 (0.28)	—	—	—
Respiratory, thoracic and mediastinal disorders	12 (1.71)	8 (0.11)	3 (0.11)	5 (0.11)
Alveolitis allergic	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Asthma	2 (0.28)	—	—	—
Dyspnoea	—	3 (0.04)	1 (0.04)	2 (0.04)
Eosinophilic pneumonia	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Epistaxis	1 (0.14)	—	—	—
Haemoptysis	2 (0.28)	—	—	—
Interstitial lung disease	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Nasal congestion	1 (0.14)	—	—	—
Pleural effusion	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Pneumothorax	1 (0.14)	—	—	—
Rhinorrhoea	1 (0.14)	—	—	—
Upper respiratory tract inflammation	2 (0.28)	—	—	—
Nasal discomfort	1 (0.14)	—	—	—
Eosinophilic pneumonia chronic	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Oropharyngeal pain	1 (0.14)	—	—	—
Gastrointestinal disorders	65 (9.26)	69 (0.95)	24 (0.88)	45 (0.99)
Abdominal discomfort	2 (0.28)	5 (0.07)	1 (0.04)	4 (0.09)
Abdominal distension	4 (0.57)	2 (0.03)	1 (0.04)	1 (0.02)
Abdominal pain	3 (0.43)	3 (0.04)	1 (0.04)	2 (0.04)
Abdominal pain lower	1 (0.14)	—	—	—
Abdominal pain upper	2 (0.28)	6 (0.08)	—	6 (0.13)
Abnormal faeces	1 (0.14)	—	—	—
Aphthous stomatitis	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Cheilitis	3 (0.43)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Constipation	8 (1.14)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Diarrhoea	34 (4.84)	35 (0.48)	16 (0.58)	19 (0.42)
Dry mouth	1 (0.14)	—	—	—
Dyspepsia	1 (0.14)	—	—	—
Enterocolitis	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Glossitis	3 (0.43)	2 (0.03)	—	2 (0.04)
Lip oedema	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Lip swelling	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Nausea	7 (1.00)	5 (0.07)	1 (0.04)	4 (0.09)
Oral mucosal eruption	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Stomatitis	3 (0.43)	2 (0.03)	1 (0.04)	1 (0.02)
Tongue coated	1 (0.14)	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Tongue discolouration	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Tongue disorder	2 (0.28)	—	—	—
Vomiting	5 (0.71)	4 (0.05)	1 (0.04)	3 (0.07)
Chapped lips	1 (0.14)	—	—	—
Epigastric discomfort	1 (0.14)	—	—	—
Hypoesthesia oral	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Faeces soft	—	3 (0.04)	—	3 (0.07)

(Continued)

Table 1. (Continued)

	Up to approval	Postmarketing study and specified postmarketing study		
		Overall	Elderly <sup>a</sup>	Non-elderly <sup>a</sup>
No. of patients in the safety analysis population	702	7,283	2,739	4,543
No. of patients with ADRs	292	291	130	161
No. of ADRs	572	366	156	210
Incidence rates of ADRs (%)	41.60	4.00	4.75	3.54
Category of ADRs		No. of patients and incidence rates of ADRs (%)		
Hepatobiliary disorders	—	48 (0.66)	22 (0.80)	26 (0.57)
Hepatic function abnormal	—	35 (0.48)	17 (0.62)	18 (0.40)
Liver disorder	—	13 (0.18)	5 (0.18)	8 (0.18)
Skin and subcutaneous tissue disorders	14 (1.99)	55 (0.76)	21 (0.77)	34 (0.75)
Cold sweat	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Dermatitis	1 (0.14)	—	—	—
Drug eruption	—	9 (0.12)	3 (0.11)	6 (0.13)
Eczema	3 (0.43)	5 (0.07)	2 (0.07)	3 (0.07)
Erythema	1 (0.14)	2 (0.03)	1 (0.04)	1 (0.02)
Erythema multiforme	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Erythema nodosum	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Papule	1 (0.14)	—	—	—
Pruritus	3 (0.43)	2 (0.03)	—	2 (0.04)
Rash	7 (1.00)	27 (0.37)	11 (0.40)	16 (0.35)
Stevens-Johnson syndrome	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Swelling face	—	2 (0.03)	—	2 (0.04)
Urticaria	—	6 (0.08)	1 (0.04)	5 (0.11)
Pruritus generalised	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Musculoskeletal and connective tissue disorders	9 (1.28)	4 (0.05)	—	4 (0.09)
Back pain	5 (0.71)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Muscle spasms	1 (0.14)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Muscular weakness	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Musculoskeletal pain	1 (0.14)	—	—	—
Myalgia	1 (0.14)	—	—	—
Neck pain	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Plantar fasciitis	1 (0.14)	—	—	—
Renal and urinary disorders	1 (0.14)	10 (0.14)	8 (0.29)	2 (0.04)
Dysuria	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Pollakiuria	1 (0.14)	—	—	—
Renal disorder	—	3 (0.04)	2 (0.07)	1 (0.02)
Urinary retention	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Renal impairment	—	4 (0.05)	3 (0.11)	1 (0.02)
Acute kidney injury	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Congenital, familial and genetic disorders	1 (0.14)	—	—	—
Colour blindness	1 (0.14)	—	—	—
General disorders and administration-site conditions	12 (1.71)	16 (0.22)	5 (0.18)	11 (0.24)
Chest discomfort	1 (0.14)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Chest pain	1 (0.14)	—	—	—
Chills	—	2 (0.03)	1 (0.04)	1 (0.02)
Face oedema	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Feeling abnormal	2 (0.28)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Feeling hot	1 (0.14)	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Malaise	3 (0.43)	5 (0.07)	2 (0.07)	3 (0.07)
Oedema peripheral	—	2 (0.03)	—	2 (0.04)
Pyrexia	—	4 (0.05)	2 (0.07)	2 (0.04)
Thirst	5 (0.71)	1 (0.01)	—	1 (0.02)

(Continued)

Table 1. (Continued)

	Up to approval	Postmarketing study and specified postmarketing study		
		Overall	Elderly <sup>a</sup>	Non-elderly <sup>a</sup>
No. of patients in the safety analysis population	702	7,283	2,739	4,543
No. of patients with ADRs	292	291	130	161
No. of ADRs	572	366	156	210
Incidence rates of ADRs (%)	41.60	4.00	4.75	3.54
Category of ADRs		No. of patients and incidence rates of ADRs (%)		
Investigations	211 (30.06)	64 (0.88)	35 (1.28)	29 (0.64)
Alanine aminotransferase increased	72 (10.26)	12 (0.16)	2 (0.07)	10 (0.22)
Amylase increased	29 (4.13)	—	—	—
Aspartate aminotransferase increased	58 (8.26)	8 (0.11)	1 (0.04)	7 (0.15)
Bilirubin conjugated increased	5 (0.71)	—	—	—
Blood bilirubin increased	8 (1.14)	—	—	—
Blood chloride decreased	3 (0.43)	—	—	—
Blood creatine phosphokinase increased	9 (1.28)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Blood creatinine increased	6 (0.85)	2 (0.03)	2 (0.07)	—
Blood glucose decreased	9 (1.28)	3 (0.04)	1 (0.04)	2 (0.04)
Blood glucose increased	12 (1.71)	5 (0.07)	4 (0.15)	1 (0.02)
Blood lactate dehydrogenase increased	9 (1.28)	2 (0.03)	1 (0.04)	1 (0.02)
Blood potassium decreased	2 (0.28)	—	—	—
Blood potassium increased	13 (1.85)	—	—	—
Blood pressure decreased	6 (0.85)	7 (0.10)	7 (0.26)	—
Blood pressure increased	1 (0.14)	—	—	—
Blood sodium decreased	1 (0.14)	—	—	—
Blood urea increased	2 (0.28)	3 (0.04)	3 (0.11)	—
C-reactive protein increased	1 (0.14)	—	—	—
Cold agglutinins positive	1 (0.14)	—	—	—
Electrocardiogram QT prolonged	3 (0.43)	3 (0.04)	1 (0.04)	2 (0.04)
Eosinophil count increased	19 (2.71)	5 (0.07)	3 (0.11)	2 (0.04)
Gamma-glutamyltransferase increased	24 (3.42)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Glucose urine present	4 (0.57)	—	—	—
Haematocrit decreased	3 (0.43)	—	—	—
Haemoglobin decreased	4 (0.57)	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Liver function test abnormal	—	2 (0.03)	1 (0.04)	1 (0.02)
Lymphocyte count decreased	1 (0.14)	—	—	—
Lymphocyte count increased	2 (0.28)	—	—	—
Monocyte count increased	1 (0.14)	—	—	—
Neutrophil count decreased	4 (0.57)	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Platelet count decreased	1 (0.14)	2 (0.03)	2 (0.07)	—
Prothrombin time prolonged	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Red blood cell count decreased	1 (0.14)	—	—	—
Red blood cells urine positive	1 (0.14)	—	—	—
Urinary casts	1 (0.14)	—	—	—
White blood cell count decreased	9 (1.28)	14 (0.19)	6 (0.22)	8 (0.18)
White blood cell count increased	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
White blood cells urine positive	2 (0.28)	—	—	—
Electrocardiogram P wave abnormal	1 (0.14)	—	—	—
Platelet count increased	6 (0.85)	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Eosinophil percentage increased	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Neutrophil percentage decreased	1 (0.14)	—	—	—
Protein urine present	14 (1.99)	—	—	—
Muscle enzyme increased	—	1 (0.01)	—	1 (0.02)
Blood alkaline phosphatase increased	19 (2.71)	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Hepatic enzyme increased	—	2 (0.03)	1 (0.04)	1 (0.02)
Electrocardiogram ST-T change	1 (0.14)	—	—	—
Renal function test abnormal	—	1 (0.01)	1 (0.04)	—
Lymphocyte morphology abnormal	1 (0.14)	—	—	—
Urobilinogen urine increased	2 (0.28)	—	—	—

ADRs: Adverse drug reactions.

Incidence of ADRs (%) = Number of patients with ADRs/Number of patients in the safety analysis population.

<sup>a</sup>Excluding one patient of unknown age.

Table 2. Incidence of adverse drug reactions by the age and patient demographic characteristics

Demographics	Overall			Elderly <sup>a</sup>			Non-elderly <sup>a</sup>		
	N (%)	No. of patients with ADRs (%)	p value <sup>b</sup>	N (%)	No. of patients with ADRs (%)	p value <sup>b</sup>	N (%)	No. of patients with ADR (%)	p value <sup>b</sup>
No. of patients in the safety analysis population	7,283	291 (4.00)		2,739	130 (4.75)		4,543	161 (3.54)	
Gender									
Male	3,705 (50.87)	149 (4.02)	0.9523	1,498 (54.69)	80 (5.34)	0.1247	2,206 (48.56)	69 (3.13)	0.1488
Female	3,578 (49.13)	142 (3.97)		1,241 (45.31)	50 (4.03)		2,337 (51.44)	92 (3.94)	
In/Outpatient									
Inpatient	549 (7.54)	44 (8.01)	0.0000	361 (13.18)	27 (7.48)	0.0159	188 (4.14)	17 (9.04)	0.0003
Outpatient	6,734 (92.46)	247 (3.67)		2,378 (86.82)	103 (4.33)		4,355 (95.86)	144 (3.31)	
Body weight (kg)									
< 40	170 (2.33)	9 (5.29)	0.9709	148 (5.40)	8 (5.41)	0.8546	22 (0.48)	1 (4.55)	0.9893
40–49	778 (10.68)	36 (4.63)		411 (15.01)	22 (5.35)		367 (8.08)	14 (3.81)	
50–59	1,039 (14.27)	46 (4.43)		471 (17.20)	23 (4.88)		567 (12.48)	23 (4.06)	
60–69	698 (9.58)	29 (4.15)		261 (9.53)	11 (4.21)		437 (9.62)	18 (4.12)	
70–79	330 (4.53)	16 (4.85)		88 (3.21)	4 (4.55)		242 (5.33)	12 (4.96)	
80 or over	185 (2.54)	10 (5.41)		31 (1.13)	3 (9.68)		154 (3.39)	7 (4.55)	
Unknown									
Pharyngolaryngitis	4,083 (56.06)	145 (3.55)	—	1,329 (48.52)	59 (4.44)	—	2,754 (60.62)	86 (3.12)	
Tonsillitis	1,073 (14.73)	21 (1.96)	0.0000	314 (11.46)	4 (1.27)	0.0000	759 (16.71)	17 (2.24)	0.0000
Acute bronchitis	712 (9.78)	15 (2.11)		84 (3.07)	4 (4.76)		628 (13.82)	11 (1.75)	
Pneumonia	1,389 (19.07)	24 (1.73)		591 (21.58)	10 (1.69)		798 (17.57)	14 (1.75)	
Diagnosis									
Secondary infection in chronic respiratory lesion	2,321 (31.87)	169 (7.28)		1,146 (41.84)	82 (7.16)		1,174 (25.84)	87 (7.41)	
Otitis media	551 (7.57)	23 (4.17)		376 (13.73)	18 (4.79)		175 (3.85)	5 (2.86)	
Sinusitis	254 (3.49)	9 (3.54)		94 (3.43)	6 (6.38)		160 (3.52)	3 (1.88)	
Other	907 (12.45)	27 (2.98)		107 (3.91)	4 (3.74)		800 (17.61)	23 (2.88)	
Severity of infection									
Mild	76 (1.04)	3 (3.95)		27 (0.99)	2 (7.41)		49 (1.08)	1 (2.04)	
Moderate	3,576 (49.10)	156 (4.36)	0.0577	1,491 (54.44)	73 (4.90)	0.8889	2,085 (45.89)	83 (3.98)	0.1104
Severe	3,381 (46.42)	129 (3.82)		1,180 (43.08)	55 (4.66)		2,200 (48.43)	74 (3.36)	
Undescribed <sup>c</sup>									
No	325 (4.46)	6 (1.85)		68 (2.48)	2 (2.94)		257 (5.66)	4 (1.56)	
Yes	1 (0.01)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—	1 (0.02)	0 (0)	—
Underlying disease/Complication									
Unknown	3,302 (45.34)	85 (2.57)	0.0000	507 (18.51)	14 (2.76)	0.0666	2,795 (61.52)	71 (2.54)	0.0000
Yes	3,979 (54.63)	206 (5.18)		2,231 (81.45)	116 (5.20)		1,747 (38.45)	90 (5.15)	
Diabetes									
No	2 (0.03)	0 (0)		1 (0.04)	0 (0)		1 (0.02)	0 (0)	
Yes	6,681 (91.73)	265 (3.97)	0.6893	2,343 (85.54)	109 (4.65)	0.5473	4,337 (95.47)	156 (3.60)	0.5746
Unknown									
No	600 (8.24)	26 (4.33)		395 (14.42)	21 (5.32)		205 (4.51)	5 (2.44)	
Yes	2 (0.03)	0 (0)		1 (0.04)	0 (0)		1 (0.02)	0 (0)	
Hypertension									
No	5,838 (80.16)	223 (3.82)	0.2009	1,686 (61.56)	80 (4.74)	1.0000	4,152 (91.39)	143 (3.44)	0.2763
Yes	1,443 (19.81)	68 (4.71)		1,052 (38.41)	50 (4.75)		390 (8.58)	18 (4.62)	
Unknown									
No	2 (0.03)	0 (0)		1 (0.04)	0 (0)		1 (0.02)	0 (0)	

(Continued)

Table 2. (Continued)

Demographics	Overall			Elderly <sup>a</sup>			Non-elderly <sup>a</sup>		
	N (%)	No. of patients with ADRs (%)	p value <sup>b</sup>	N (%)	No. of patients with ADRs (%)	p value <sup>b</sup>	N (%)	No. of patients with ADR (%)	p value <sup>b</sup>
<b>No. of patients in the safety analysis population</b>									
Hypotension	No	7,269 (99.81)	291 (4.00)	0.4353	2,733 (99.78)	130 (4.75)	4,543	161 (3.54)	
	Yes	12 (0.16)	1 (8.33)	5 (0.18)	0 (0)	7 (0.15)	160 (3.53)	0.2509	
	Unknown	2 (0.03)	0 (0)	1 (0.04)	0 (0)	1 (0.02)	1 (14.29)		
Cardiac disorders	No	6,722 (92.30)	253 (3.76)	0.0035	2,271 (82.91)	98 (4.32)	4,451 (97.97)	155 (3.48)	0.1693
	Yes	559 (7.68)	38 (6.80)	467 (17.05)	32 (6.85)	91 (2.00)	6 (6.59)		
COPD	No	6,055 (83.14)	227 (3.75)	0.0526	1,977 (72.18)	86 (4.35)	0.1731	4,078 (89.76)	141 (3.46)
	Yes	1,226 (16.83)	64 (5.22)	761 (27.78)	44 (5.78)	464 (10.21)	20 (4.31)		0.3755
	Unknown	2 (0.03)	0 (0)	1 (0.04)	0 (0)	1 (0.02)	0 (0)		
Liver function impairment	No	5,467 (75.07)	195 (3.57)	0.0000	2,210 (80.69)	97 (4.39)	0.0052	3,256 (71.67)	98 (3.01)
	Yes	664 (9.12)	58 (8.73)	304 (11.10)	25 (8.22)	360 (7.92)	33 (9.17)		
	Unknown	1,116 (15.32)	31 (2.78)	211 (7.70)	5 (2.37)	905 (19.92)	26 (2.87)		
	Undescribed <sup>c</sup>	36 (0.49)	7 (19.44)	—	14 (0.51)	3 (21.43)	—	22 (0.48)	4 (18.18)
Renal function impairment	No	5,854 (80.38)	225 (3.84)	0.0000	2,302 (84.05)	104 (4.52)	0.0300	3,551 (78.16)	121 (3.41)
	Yes	258 (3.54)	25 (9.69)	207 (7.56)	17 (8.21)	51 (1.12)	8 (15.69)		
	Unknown	1,134 (15.57)	34 (3.00)	215 (7.85)	6 (2.79)	919 (20.23)	28 (3.05)		
	Undescribed <sup>c</sup>	37 (0.51)	7 (18.92)	—	15 (0.55)	3 (20.00)	—	22 (0.48)	4 (18.18)
Allergy (drug)	No	6,909 (94.86)	254 (3.68)	0.0000	2,582 (94.27)	115 (4.45)	0.0045	4,326 (95.22)	139 (3.21)
	Yes	248 (3.41)	32 (12.90)	97 (3.54)	12 (12.37)	151 (3.32)	20 (13.25)		
	Unknown	124 (1.70)	5 (4.03)	59 (2.15)	3 (5.08)	65 (1.43)	2 (3.08)		
	Undescribed <sup>c</sup>	2 (0.03)	0 (0)	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (0)		
Allergy (other)	No	6,609 (90.75)	259 (3.92)	0.2910	2,551 (93.14)	119 (4.66)	0.4608	4,057 (89.30)	140 (3.45)
	Yes	513 (7.04)	27 (5.26)	115 (4.20)	8 (6.96)	398 (8.76)	19 (4.77)		
	Unknown	158 (2.17)	5 (3.16)	71 (2.59)	3 (4.23)	87 (1.92)	2 (2.30)		
	Undescribed <sup>c</sup>	2 (0.03)	—	2 (0.07)	0 (0)	—	1 (0.02)		
Antimicrobials in advance	No	5,887 (80.83)	192 (3.26)	0.0000	2,224 (81.20)	93 (4.18)	0.0089	3,662 (80.61)	99 (2.70)
	Yes	1,333 (18.30)	96 (7.20)	493 (18.00)	37 (7.51)	840 (18.49)	59 (7.02)		
	Unknown	63 (0.87)	3 (4.76)	22 (0.80)	0 (0)	41 (0.90)	3 (7.32)		
	Undescribed <sup>c</sup>	3 (0.04)	0 (0)	—	—	—	0 (0)		
Dosage (/day)	200 mg	228 (31.3)	10 (4.39)	0.0707	207 (7.56)	10 (4.83)	0.8659	21 (0.46)	0.1035
	400 mg	7,053 (96.84)	280 (3.97)	2,532 (92.44)	120 (4.74)	4,520 (99.49)	160 (3.54)		
	>400 mg	2 (0.03)	1 (50.00)	0 (—)	—	2 (0.04)	1 (50.00)		
Concomitant medication	No	693 (9.52)	14 (2.02)	0.0041	235 (8.58)	5 (2.13)	0.0525	458 (10.08)	9 (1.97)
	Yes	6,589 (90.47)	277 (4.20)	2,503 (91.38)	125 (4.99)	4,085 (89.92)	152 (3.72)	0.0607	
	Undescribed <sup>c</sup>	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	—	—

(Continued)

Table 2. (Continued)

Demographics	Overall			Elderly <sup>a</sup>			Non-elderly <sup>a</sup>		
	N (%)	No. of patients with ADRs (%)	p value <sup>b</sup>	N (%)	No. of patients with ADRs (%)	p value <sup>b</sup>	N (%)	No. of patients with ADR (%)	p value <sup>b</sup>
No. of patients in the safety analysis population									
Antacids	7,283	291(4.00)		2,739	130(4.75)		4,543	161(3.54)	
No	7,077 (97.17)	278(3.93)	0.0994	2,585 (94.38)	120(4.64)	0.3233	4,491 (98.86)	158(3.52)	0.4313
Yes	205 (2.81)	13(6.34)	—	153 (5.59)	10(6.54)	—	52 (1.14)	3 (5.77)	—
Undescribed <sup>c</sup>	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—
Nitroglycerin,	7,195 (98.79)	287(3.99)	0.7789	2,656 (96.97)	126(4.74)	0.7951	4,538 (99.89)	161 (3.55)	1.0000
Isosorbide dinitrate	87 (1.19)	4 (4.60)	—	82 (2.99)	4 (4.88)	—	5 (0.11)	0 (0)	— (—)
Yes	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—
Undescribed <sup>c</sup>	7,264 (99.74)	291(4.01)	1.0000	2,722 (99.38)	130(4.78)	1.0000	4,541 (99.96)	161 (3.55)	1.0000
Anti-arrhythmic drugs (Class IA or III)	18 (0.25)	0 (0)	—	16 (0.58)	0 (0)	—	2 (0.04)	0 (0)	— (—)
Yes	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—
Undescribed <sup>c</sup>	6,223 (85.45)	248 (3.99)	0.8656	2,483 (90.65)	115 (4.63)	0.3539	3,739 (82.30)	133 (3.56)	1.0000
Phenylacetic acid or propionic acid-	1,059 (14.54)	43 (4.06)	—	255 (9.31)	15 (5.88)	—	804 (17.70)	28 (3.48)	—
NSAIDs	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—
Theophylline, aminophylline or theophylline or theophylline Antihypertensives	6,823 (93.68)	264 (3.87)	0.0474	2,469 (90.14)	111 (4.50)	0.0690	4,354 (95.84)	153 (3.51)	0.5459
No	459 (6.30)	27 (5.88)	—	269 (9.82)	19 (7.06)	—	189 (4.16)	8 (4.23)	—
Yes	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—
Undescribed <sup>c</sup>	6,040 (82.93)	229 (3.79)	0.0559	1,797 (65.61)	82 (4.56)	0.5704	4,243 (93.40)	147 (3.46)	0.2586
No	1,242 (17.05)	62 (4.99)	—	941 (34.36)	48 (5.10)	—	300 (6.60)	14 (4.67)	—
Yes	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—
Hypoglycemic agents	6,938 (95.26)	276 (3.98)	0.6725	2,508 (91.57)	117 (4.67)	0.5152	4,429 (97.49)	159 (3.59)	0.4397
Yes	344 (4.72)	15 (4.36)	—	230 (8.40)	13 (5.65)	—	114 (2.51)	2 (1.75)	—
Undescribed <sup>c</sup>	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—
Warfarin	7,212 (99.03)	285 (3.95)	0.0601	2,678 (97.77)	125 (4.67)	0.2056	4,533 (99.78)	160 (3.53)	0.3032
No	70 (0.96)	6 (8.57)	—	60 (2.19)	5 (8.33)	—	10 (0.22)	1 (10.00)	—
Yes	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—
Antihistamines	6,579 (90.33)	266 (4.04)	0.6124	2,556 (93.32)	123 (4.81)	0.7177	4,022 (88.53)	143 (3.56)	1.0000
Yes	703 (9.65)	25 (3.56)	—	182 (6.64)	7 (3.85)	—	521 (11.47)	18 (3.45)	—
Undescribed <sup>c</sup>	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—
Antimicrobials	6,665 (91.51)	243 (3.65)	0.0000	2,497 (91.16)	109 (4.37)	0.0061	4,167 (91.72)	134 (3.22)	0.0003
No	617 (8.47)	48 (7.78)	—	241 (8.80)	21 (8.71)	—	376 (8.28)	27 (7.18)	—
Yes	1 (0.01)	0 (0)	—	1 (0.04)	0 (0)	—	0 (—)	— (—)	—

ADRs: Adverse drug reactions, COPD: Chronic obstructive pulmonary disease.

Incidence rates of ADRs (%) = Number of patients with ADRs/Number of patients in the safety analysis population.

<sup>a</sup>Excluding one patient of unknown age. <sup>b</sup>P value was calculated for weight and diagnosis by the  $\chi^2$  test, and for other variables by Fisher's exact test. <sup>c</sup>Excluding patients with data missing in the CRF.

(628/4,543 例) に比べて低かった。基礎疾患・合併症ありは、高齢者が 81.45% (2,231/2,739 例) で、非高齢者の 38.45% (1,747/4,543 例) に比べ 2 倍以上高かった。併用薬ありは、高齢者が 91.38% (2,503/2,739 例) および非高齢者が 89.92% (4,085/4,543 例) と相違はなかったものの、降圧薬服用の割合は高齢者が 34.36% (941/2,739 例) で、非高齢者 6.60% (300/4,543 例) に比べて高かった。

## 2) 患者背景別の副作用発現状況

高齢者で副作用発現率に影響を及ぼす患者背景は、入院・外来、感染症診断名、投与前の肝機能障害の有無、投与前の腎機能障害の有無、アレルギー歴(薬剤)の有無、GRNX 投与直前の抗菌薬治療の有無、併用抗菌薬の有無であり、これらの項目は非高齢者と同様であった (Table 2)。

高齢者の患者背景のカテゴリー別の副作用発現率は、入院・外来別では入院で 7.48% (27/361 例)、外来で 4.33% (103/2,378 例)、感染症診断名別では肺炎で 7.16% (82/1,146 例)、急性気管支炎で 1.69% (10/591 例) であった。投与前の肝機能障害の有無別では、肝機能障害ありで 8.22% (25/304 例)、なしで 4.39% (97/2,210 例) であった。投与前の腎機能障害の有無別では、腎機能障害ありで 8.21% (17/207 例)、なしで 4.52% (104/2,302 例) であった。アレルギー歴(薬剤)の有無別では、ありで 12.37% (12/97 例)、なしで 4.45% (115/2,582 例) であった。GRNX 投与直前の抗菌薬治療の有無別では、ありで 7.51% (37/493 例)、なしで 4.18% (93/2,224 例) であり、併用抗菌薬の有無別では、ありで 8.71% (21/241 例)、なしで 4.37% (109/2,497 例) であった。非高齢者の患者背景のカテゴリー別の副作用発現率は、高齢者と同様の傾向を示した。

## 2. 高齢者の臨床効果

### (1) 感染症診断名別の有効率

高齢者全体の有効率は 93.9% (2,345/2,498 例) で、感染症診断名別では肺炎 91.1% (903/991 例)、咽頭・喉頭炎 97.7% (300/307 例)、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む) 98.7% (76/77 例)、急性気管支炎 95.8% (541/565 例)、慢性呼吸器疾患の二次感染 94.7% (341/360 例)、中耳炎 91.3% (84/92 例)、副鼻腔炎 94.3% (100/106 例) で、いずれも 90% 以上であった (Table 3)。ただし、肺炎のうち少数例の非定型肺炎では 77.8% (7/9 例) で、他に比べ低

かった。高齢者の感染症診断名別の有効率は、非高齢者の有効率 (89.7~98.4%) と比べて遜色のないものであった。

### (2) 患者背景別の有効率

高齢者の有効率に影響を及ぼす患者背景は、入院・外来、感染症診断名、感染症重症度、アレルギー歴(その他)の有無および併用抗菌薬の有無であり、そのうち感染症診断名および感染症重症度は非高齢者と共通した項目であった (Table 3)。

高齢者の患者背景のカテゴリー別の有効率は、入院で 89.4% (296/331 例)、外来で 94.6% (2,049/2,167 例)、感染症診断名別では肺炎で 91.1% (903/991 例) など上述のとおりで、感染症重症度別では、軽症で 95.3% (1,279/1,342 例)、中等症で 92.3% (1,013/1,097 例) および重症で 89.8% (53/59 例) であった。アレルギー歴(その他)の有無別では、ありで 92.5% (98/106 例)、なしで 94.2% (2,191/2,326 例)、併用抗菌薬ありで 89.6% (189/211 例)、なしで 94.3% (2,155/2,286 例) であった。高齢者の患者背景のカテゴリー別の有効率は、非高齢者と比べてほとんどが低値であったが、非高齢者の患者背景のカテゴリー別の有効率と同様の傾向を示した。

### (3) 肺炎に対する有効率

レジオネラ肺炎を除く肺炎全体の有効率は、高齢者で 91.0% (890/978 例)、非高齢者で 95.3% (929/975 例) であった (Table 4)。高齢者の有効率に影響を及ぼす患者背景は、入院・外来、感染症重症度、基礎疾患・合併症の有無であり、慢性呼吸器疾患の有無別および誤嚥のリスクの有無別で有意差はみられなかった。

高齢者の患者背景のカテゴリー別の有効率は、入院で 85.6% (178/208 例)、外来で 92.5% (712/770 例)、感染症重症度別では、軽症で 93.7% (494/527 例)、中等症で 88.4% (372/421 例) および重症で 80.0% (24/30 例) であり、基礎疾患・合併症の有無別では、ありで 90.0% (741/823 例)、なしで 96.1% (149/155 例) であった。

基礎疾患・合併症として慢性呼吸器疾患有する患者での有効率は、90.5% (363/401 例) で、その内訳別の有効率は、COPD で 93.4% (127/136 例)、喘息で 91.5% (65/71 例)、気管支拡張症で 90.9% (30/33 例) であった。また、誤嚥のリスク因子を有する患者での有効率は 90.1% (173/192 例) で、その

Table 3. Efficacy rate by the age and patient demographic characteristics

Demographics	Overall						Elderly <sup>a</sup>						Non-elderly <sup>a</sup>							
	Clinical effect			Efficacy rate (%)			Clinical effect			Efficacy rate (%)			Clinical effect			Efficacy rate (%)				
No. of patients in the efficacy analysis population	N	E	I	ENP	p value <sup>b</sup>	N	E	I	ENP	p value <sup>b</sup>	N	E	I	ENP	p value <sup>b</sup>	N	E	I	ENP	p value <sup>b</sup>
Gender	Male	3,395	3,147	163	85	3,147/3,310 (95.1)	0.0548	1,395	1,259	88	48	1,259/1,347 (93.5)	0.4027	1,999	1,887	75	37	1,887/1,962 (96.2)	0.1418	
	Female	3,315	3,133	128	54	3,133/3,261 (96.1)	1.172	1,086	65	21	1,086/1,151 (94.4)	2,143	2,047	63	33	2,047/2,110 (97.0)				
In/Outpatient	Inpatient	506	451	39	16	451/490 (92.0)	0.0003	342	296	35	11	296/331 (89.4)	0.0008	1,644	155	4	5	155/159 (97.5)	0.8212	
	Outpatient	6,204	5,829	252	123	5,829/6,081 (95.9)	2,225	2,049	118	58	2,049/2,167 (94.6)	3,978	3,779	134	65	3,779/3,913 (96.6)				
Bodyweight (kg)	<40	165	142	14	9	142/156 (91.0)	0.1748	144	124	13	7	124/137 (90.5)	0.5022	21	18	1	2	18/19 (94.7)	0.9177	
	40~49	716	667	31	18	667/698 (95.6)	387	354	22	11	354/376 (94.1)	329	313	9	7	313/322 (97.2)				
	50~59	947	883	44	20	883/927 (95.3)	431	397	26	8	397/423 (93.9)	515	485	18	12	485/503 (96.4)				
	60~69	633	586	34	13	586/620 (94.5)	241	215	20	6	215/235 (91.5)	392	371	14	7	371/385 (96.4)				
	70~79	310	289	14	7	289/303 (95.4)	81	75	4	2	75/79 (94.9)	229	214	10	5	214/224 (95.5)				
	80 or over	170	163	5	2	163/168 (97.0)	29	27	1	1	27/28 (96.4)	141	136	4	1	136/140 (97.1)				
	Unknown	3,769	3,550	149	70	3,550/3,699 (96.0)	—	1,254	1,153	67	34	1,153/1,220 (94.5)	—	2,515	2,397	82	36	2,397/2,479 (96.7)	—	
Diagnosis	Pharyngolaryngitis	1,003	965	26	12	965/991 (97.4)	0.0000	309	300	7	2	300/307 (97.7)	0.0000	694	665	19	10	665/684 (97.2)	0.0000	
	Tonsillitis	668	639	21	8	639/660 (96.8)	79	76	1	2	76/77 (98.7)	589	563	20	6	563/583 (96.6)				
	Acute bronchitis	1,329	1,279	36	14	1,279/1,315 (97.3)	575	541	24	10	541/565 (95.8)	754	738	12	4	738/750 (98.4)				
	Pneumonia	2,061	1,852	134	75	1,852/1,986 (93.3)	1,032	903	88	41	903/991 (91.1)	1,028	948	46	34	948/994 (95.4)				
	Bacterial pneumonia	1,957	1,766	131	60	1,766/1,897 (93.1)	—	1,008	883	86	39	883/969 (91.1)	—	948	882	45	21	882/927 (95.1)		
	Atypical pneumonia	72	54	3	15	54/57 (94.7)	—	11	7	2	2	7/9 (77.8)	—	61	47	1	13	47/48 (97.9)	—	
	Legionella pneumonia	18	18	0	0	18/18 (100)	—	8	8	0	0	8/8 (100)	—	10	10	0	0	10/10 (100)	—	
	Legionella pneumonia <sup>c</sup>	14	14	0	0	14/14 (100)	—	5	5	0	0	5/5 (100)	—	9	9	0	0	9/9 (100)	—	
Secondary infection in chronic respiratory lesion		539	498	22	19	498/520 (95.8)	372	341	19	12	341/360 (94.7)	167	157	3	7	157/160 (98.1)				
Otitis media		250	223	24	3	223/247 (90.3)	94	84	8	2	84/92 (91.3)	156	139	16	1	139/155 (89.7)				
Sinusitis		860	824	28	8	824/852 (96.7)	106	100	6	0	100/106 (94.3)	754	724	22	8	724/746 (97.1)				
Mild		3,241	3,056	114	71	3,056/3,170 (96.4)	0.0001	1,376	1,279	63	34	1,279/1,342 (95.3)	0.0030	1,865	1,777	51	37	1,777/1,828 (97.2)	0.0003	
Moderate		3,162	2,953	151	58	2,953/3,104 (95.1)	1,129	1,013	84	32	1,013/1,097 (92.3)	2,032	1,939	67	26	1,939/2,006 (96.7)				
Severe		307	271	26	10	271/297 (91.2)	62	53	6	3	53/59 (89.8)	245	218	20	7	218/238 (91.6)				

(Continued)

Table 3. (Continued)

Demographics	Overall										Elderly <sup>a</sup>						Non-elderly <sup>a</sup>												
	Clinical effect			Efficacy rate (%)			p value <sup>b</sup>			Clinical effect			Efficacy rate (%)			p value <sup>b</sup>			Clinical effect			Efficacy rate (%)			p value <sup>b</sup>				
	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I		
No. of patients in the efficacy analysis population	6,710	6,280	291	139	6,280/6,571 (95.6)				2,567	2,345	153	69	2,345/2,498 (93.9)				4,142	3,934	138	70	3,934/4,072 (96.6)								
Underlying disease/Compliance	No	2,995	2,868	88	39	2,868/2,956 (97.0)	0.0000		468	446	19	3	446/465 (95.9)	0.1004			2,527	2,422	69	36	2,422/2,491 (97.2)	0.0216							
Unknown	Yes	3,713	3,410	203	100	3,410/3,613 (94.4)			2,098	1,898	134	66	1,898/2,032 (93.4)				1,614	1,511	69	34	1,511/1,580 (95.6)								
Diabetes	No	6,144	5,758	259	127	5,758/6,017 (95.7)	0.1825		2,195	2,007	128	60	2,007/2,135 (94.0)	0.5105			1	1	0	0	1/1 (100)								
Yes	564	520	32	12	520/552 (94.2)				371	337	25	9	337/362 (93.1)				193	183	7	3	183/190 (96.3)								
Unknown	No	5,575	5,236	230	109	5,236/5,466 (95.8)	0.1362		1,855	1,698	108	49	1,698/1,806 (94.0)	0.6631			1	1	0	0	1/1 (100)								
COPD	Yes	1,133	1,042	61	30	1,042/1,103 (94.5)			711	646	45	20	646/691 (93.5)				421	395	16	10	395/411 (96.1)								
Unknown	No	5,053	4,732	218	103	4,732/4,950 (95.6)	0.5273		2,077	1,901	122	54	1,901/2,023 (94.0)	0.6173			1	1	0	0	1/1 (100)								
Liver function impairment	No	604	553	31	20	553/584 (94.7)			279	248	20	11	248/268 (92.5)				325	305	11	9	305/316 (96.5)								
Unknown	No	1,021	963	42	16	963/1,005 (95.8)			198	183	11	4	183/194 (94.3)				823	780	31	12	780/811 (96.2)								
Undescribed <sup>d</sup>	No	32	32	0	0	32/32 (100)			—	13	13	0	0	13/13 (100)			—	19	19	0	0	19/19 (100)	—						
Renal function impairment	No	5,406	5,058	232	116	5,058/5,290 (95.6)	0.0521		2,158	1,973	126	59	1,973/2,099 (94.0)	0.3514			3,247	3,084	106	57	3,084/3,190 (96.7)	0.7226							
Unknown	No	240	214	18	8	214/232 (92.2)			195	171	16	8	171/187 (91.4)				45	43	2	0	43/45 (95.6)								
Undescribed <sup>d</sup>	No	1,031	975	41	15	975/1,016 (96.0)			200	187	11	2	187/198 (94.4)				831	788	30	13	788/818 (96.3)								
Undescribed <sup>d</sup>	No	33	33	0	0	33/33 (100)			—	14	14	0	0	14/14 (100)			—	19	19	0	0	19/19 (100)	—						
Allergy (drug)	No	6,380	5,987	267	126	5,987/6,254 (95.7)	0.0193		2,424	2,216	143	65	2,216/2,359 (93.9)	0.5488			3,955	3,770	124	61	3,770/3,894 (96.8)	0.0032							
Unknown	No	218	192	16	10	192/208 (92.3)			88	80	5	3	80/85 (94.1)				130	112	11	7	112/123 (91.1)								
Undescribed <sup>d</sup>	No	110	99	8	3	99/107 (92.5)			54	48	5	1	48/53 (90.6)				56	51	3	2	51/54 (94.4)								
Allergy (other)	No	6,088	5,708	257	123	5,708/5,965 (95.7)	0.1013		2,389	2,191	135	63	2,191/2,326 (94.2)	0.0085			—	1	1	0	0	1/1 (100)	—						
Unknown	No	477	443	23	11	443/466 (95.1)			110	98	8	4	98/106 (92.5)				367	345	15	7	345/360 (95.8)								
Undescribed <sup>d</sup>	No	142	126	11	5	126/137 (92.0)			66	54	10	2	54/64 (84.4)				76	72	1	3	72/73 (98.6)								
Antimicrobials in advance	No	5,431	5,105	220	106	5,105/5,325 (95.9)	0.0393		2,091	1,921	118	52	1,921/2,039 (94.2)	0.2191			3,339	3,183	102	54	3,183/3,285 (96.9)	0.0592							
Unknown	No	1,226	1,124	69	33	1,124/1,193 (94.2)			456	406	33	17	406/439 (92.5)				770	718	36	16	718/754 (95.2)								
Unknown	No	53	51	2	0	51/53 (96.2)			20	18	2	0	18/20 (90.0)				33	33	0	0	33/33 (100)								

(Continued)

Table 3. (Continued)

Demographics	Overall										Elderly <sup>a</sup>						Non-elderly <sup>a</sup>							
	Clinical effect			Efficacy rate (%)			P value <sup>b</sup>			Clinical effect			Efficacy rate (%)			P value <sup>b</sup>			Clinical effect			Efficacy rate (%)		
	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP
No. of patients in the efficacy analysis population	6,710	6,280	291	139	6,280/6,571 (95.6)				2,567	2,345	153	69	2,345/2,498 (93.9)				4,142	3,934	138	70	3,934/4,072 (96.6)			
Dosage (/day)	200 mg 400 mg	219 6,491	198 6,082	7 277	132	198/212 (93.4) 6,082/6,359 (95.6)	0.1245	199	180 2,368	12 2,165	141	62	2,165/2,306 (93.9)	0.8760	20	18 4,122	2	0	18/20 (90.0)	0	1458			
Concomitant medication	No Yes	628 6,081	593 5,686	25 266	10	593/618 (96.0) 5,686/5,952 (95.5)	0.6821	217	198 2,349	14 2,146	139	64	198/212 (93.4) 2,146/2,285 (93.9)	0.7641	411	395	11	5	395/406 (97.3)	0	5619			
Antacids	Undescribed <sup>d</sup> No Yes	1 6,526 183	1 6,118 161	0 277	0	1/1 (100) 6,118/6,395 (95.7)	0.0370	2,427	2,222 142	0 63	0 2,222/2,364 (94.0)	0	1/1 (100) 6	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
Antihistamines	Undescribed <sup>d</sup> No Yes	1 6,053 656	1 5,662 24	0 267	0	1/1 (100) 5,662/5,929 (95.5)	0.4195	2,395	2,187 171	145	63	2,187/2,332 (93.8) 157/165 (95.2)	0.6138	3,657	3,474	122	61	3,474/3,596 (96.6)	1,0000					
Antimicrobials	Undescribed <sup>d</sup> No Yes	1 6,148 561	1 5,777 502	0 253	0	1/1 (100) 5,777/6,030 (95.8)	0.0042	2,349	2,155 217	131	63	2,155/2,286 (94.3) 189/211 (89.6)	0.0102	3,798	3,621	122	55	3,621/3,743 (96.7)	0.1495					
	Undescribed <sup>d</sup>	1	1	0	0	1/1 (100)	—	1	1 6	0	0	1/1 (100)	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—		

E: Effective; I: Ineffective; ENP: Evaluation not possible; COPD: Chronic obstructive pulmonary disease.

Efficacy rate (%) = Number of patients in whom the drug was judged as "effective" or "ineffective".

<sup>a</sup>Excluding one patient of unknown age. P value was calculated for weight and diagnosis by the  $\chi^2$  test, and for other variables by Fisher's exact test. Clinical efficacy was evaluated as relapse. <sup>b</sup>Excluding patients with data missing in the CRF.

Table 4. Efficacy rate by the age and patient demographic characteristics in patients with pneumonia

Demographics	Overall												Elderly <sup>a</sup>												Non-elderly <sup>a</sup>											
	Clinical effect			Efficacy rate (%)			p value <sup>b</sup>			Clinical effect			Efficacy rate (%)			p value <sup>b</sup>			Clinical effect			Efficacy rate (%)			p value <sup>b</sup>											
	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP								
No. of patients in the efficacy analysis population	2,029	1,820	134	75	1,820/1,954 (93.1)				1,019	890	88	41	890/978 (91.0)				1,009	929	46	34	929/975 (95.3)															
Gender	Male	1,151	1,011	90	50	1,011/1,101 (91.8)			0.0089	629	544	56	29	544/600 (90.7)				521	466	34	21	466/500 (93.2)														
	Female	878	809	44	25	809/853 (94.8)				390	346	32	12	346/378 (91.5)				488	463	12	13	463/475 (97.5)														
In/Outpatient	Inpatient	307	262	33	12	262/295 (88.8)			0.0025	218	178	30	10	178/208 (85.6)				89	84	3	2	84/87 (96.6)														
	Outpatient	1,722	1,558	101	63	1,558/1,659 (93.9)				801	712	58	31	712/770 (92.5)				920	845	43	32	845/888 (95.2)														
Body weight (kg)	<40	81	68	8	5	68/76 (89.5)			0.1710	69	57	7	5	57/64 (89.1)				2626	12	11	1	0	11/12 (91.7)													
	40~49	292	265	20	7	265/285 (93.0)				170	151	15	4	151/166 (91.0)				122	114	5	3	114/119 (95.8)														
	50~59	338	308	19	11	308/327 (94.2)				189	170	15	4	170/185 (91.9)				148	137	4	7	137/141 (97.2)														
	60~69	163	139	19	5	139/158 (88.0)				78	64	13	1	64/77 (83.1)				85	75	6	4	75/81 (92.6)														
	70~79	87	77	6	4	77/83 (92.8)				30	26	2	2	26/28 (92.9)				57	51	4	2	51/55 (92.7)														
	80 or over	48	45	2	1	45/47 (95.7)				10	10	0	0	10/10 (100)				38	35	2	1	35/37 (94.6)														
	Unknown	1,020	918	60	42	918/978 (93.9)			—	473	412	36	25	412/448 (92.0)				—	547	506	24	17	506/530 (95.5)											—		
Severity of infection	Mild	1,238	1,141	54	43	1,141/1,195 (95.5)			0.0000	548	494	33	21	494/527 (93.7)				690	647	21	22	647/668 (96.9)										0.0006				
	Moderate	742	644	71	27	644/715 (90.1)				438	372	49	17	372/421 (88.4)				303	271	22	10	271/293 (92.5)														
	Severe	49	35	9	5	35/44 (79.5)				33	24	6	3	24/30 (80.0)				16	11	3	2	11/14 (78.6)														
Underlying disease/ Complication	No	706	671	18	17	671/689 (97.4)			0.0000	155	149	6	0	149/155 (96.1)				551	522	12	17	522/534 (97.8)										0.0001				
	Yes	1,323	1,149	116	58	1,149/1,265 (90.8)				864	741	82	41	741/823 (90.0)				458	407	34	17	407/441 (92.3)														
Chronic respiratory disease	No	1,410	1,277	84	49	1,277/1,361 (93.8)			0.0794	598	527	50	21	527/577 (91.3)				812	750	34	28	750/784 (95.7)										0.2554				
	Yes	619	543	50	26	543/593 (91.6)				421	363	38	20	363/401 (90.5)				197	179	12	6	179/191 (93.7)														
Asthma		176	159	11	6	159/170 (93.5)				76	65	6	5	65/71 (91.5)				100	94	5	1	94/99 (94.9)														
Bronchiectasis		51	46	4	1	46/50 (92.0)				34	30	3	1	30/33 (90.9)				17	16	1	0	16/17 (94.1)														
Chronic bronchitis		21	15	6	0	15/21 (71.4)				17	13	4	0	13/17 (76.5)				4	2	2	0	2/4 (50.0)														
COPD		172	155	12	5	155/167 (92.8)				140	127	9	4	127/136 (93.4)				32	28	3	1	28/31 (90.3)														
Emphysema		21	16	3	2	16/19 (84.2)				15	11	3	1	11/14 (78.6)				6	5	0	1	5/5 (100)														
Interstitial pneumonia		24	17	2	5	17/19 (89.5)				18	12	2	4	12/14 (85.7)				6	5	0	1	5/5 (100)														
Other		59	53	5	1	53/58 (91.4)				47	41	5	1	41/46 (89.1)				12	12	0	0	12/12 (100)														
More disease	No	95	82	7	6	82/89 (92.1)				74	64	6	4	64/70 (91.4)				20	17	1	2	17/18 (94.4)														
	Yes	1,782	1,612	110	60	1,612/1,722 (93.6)			0.0365	815	717	69	29	717/786 (91.2)				967	895	41	31	895/936 (95.6)										0.0323				
Risk for aspiration	Cerebrovascular accident	72	66	5	1	66/71 (93.0)				61	56	4	1	56/60 (93.3)				42	34	5	3	34/39 (87.2)														
Dementia		33	26	4	3	26/30 (86.7)				31	25	4	2	25/29 (86.2)				2	1	0	1	1/1 (100)														
Gastroesophageal reflux disease		62	49	6	7	49/55 (89.1)				150	38	6	6	38/44 (86.4)				11	10	0	1	10/10 (100)														
Other		34	28	3	3	28/31 (90.3)				21	18	1	2	18/19 (94.7)				13	10	2	1	10/12 (83.3)														
More disease		46	39	6	1	39/45 (86.7)				41	36	4	1	36/40 (90.0)				5	3	2	0	3/5 (60.0)														

(Continued)

Table 4. (Continued)

Demographics	No. of patients in the efficacy analysis population	Overall						Elderly <sup>a</sup>						Non-elderly <sup>a</sup>							
		Clinical effect		Efficacy rate (%)		p value <sup>b</sup>		Clinical effect		Efficacy rate (%)		p value <sup>b</sup>		N		Clinical effect		Efficacy rate (%)		p value <sup>b</sup>	
		N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP	N	E	I	ENP
Diabetes	No	1,823	1,642	114	67	1,642/1,756 (93.5)	0.0731	870	762	72	36	762/834 (91.4)	0.3441	952	879	42	31	879/921 (95.4)	0.3152		
	Yes	206	178	20	8	178/198 (89.9)		149	128	16	5	128/144 (88.9)		57	50	4	3	50/54 (92.6)			
COPD	No	1,555	1,403	96	56	1,403/1,499 (93.6)	0.1681	705	618	60	27	618/678 (91.2)	0.8092	850	785	36	29	785/821 (95.6)	0.2974		
	Yes	474	417	38	19	417/455 (91.6)		314	272	28	14	272/300 (90.7)		159	144	10	5	144/154 (93.5)			
Liver function	No	1,578	1,419	104	55	1,419/1,523 (93.2)	0.9395	815	716	68	31	716/784 (91.3)	0.6408	762	702	36	24	702/738 (95.1)	0.7124		
Impairment	Yes	348	309	24	15	309/333 (92.8)		174	148	18	8	148/166 (89.2)		174	161	6	7	161/167 (96.4)			
Renal function impairment	No	1,802	1,620	114	68	1,620/1,734 (93.4)	0.0969	896	785	74	37	785/859 (91.4)	0.2553	905	834	40	31	834/874 (95.4)	0.6115		
	Yes	110	93	13	4	93/106 (87.7)		91	75	12	4	75/87 (86.2)		19	18	1	0	18/19 (94.7)			
Allergy (drug)	Unknown	117	107	7	3	107/114 (93.9)		30	2	0	0	30/32 (93.8)		85	77	5	3	77/82 (93.9)			
	No	1,909	1,715	126	68	1,715/1,841 (93.2)	0.8308	952	830	84	38	830/914 (90.8)	0.4603	956	884	42	30	884/926 (95.5)	0.2410		
	Yes	70	61	4	5	61/65 (93.8)		36	33	1	2	33/34 (97.1)		34	28	3	3	28/31 (90.3)			
Undescribed <sup>c</sup>	Unknown	49	43	4	2	43/47 (91.5)		30	26	3	1	26/29 (89.7)		19	17	1	1	17/18 (94.4)			
	Undescribed <sup>c</sup>	1	1	0	0	1/1 (100)		—	1	0	0	0/1 (100)		—	0	—	—	—	—	—	—
Allergy (other)	No	1,893	1,702	124	67	1,702/1,826 (93.2)	0.3871	949	833	80	36	833/913 (91.2)	0.2406	943	868	44	31	868/912 (95.2)	1.0000		
	Yes	79	70	4	5	70/74 (94.6)		32	27	2	3	27/29 (93.1)		47	43	2	2	43/45 (95.6)			
Undescribed <sup>c</sup>	Unknown	56	47	6	3	47/53 (88.7)		37	29	6	2	29/35 (82.9)		19	18	0	1	18/18 (100)			
	Undescribed <sup>c</sup>	1	1	0	0	1/1 (100)		—	1	0	0	0/1 (100)		0	—	—	—	—	—	—	—
Antimicrobials in advance	No	1,562	1,402	98	62	1,402/1,500 (93.5)	0.2187	800	701	67	32	701/768 (91.3)	0.6409	761	700	31	30	700/731 (95.8)	0.3055		
	Yes	446	397	36	13	397/433 (91.7)		211	181	21	9	181/202 (89.6)		235	216	15	4	216/231 (93.5)			
Unknown	21	21	0	0	21/21 (100)		8	0	0	0	8/8 (100)		13	0	0	0	13/13 (100)				
Dosage (/day)	200 mg	74	64	6	4	64/70 (91.4)	0.4754	71	62	5	4	62/67 (92.5)	0.8257	3	2	1	0	2/3 (66.7)	0.1351		
	400 mg	1,955	1,756	128	71	1,756/1,884 (93.2)	0.54538	948	828	83	37	828/911 (90.9)	1.006	927	45	34	927/972 (95.4)				
Concomitant medication	No	205	189	11	5	189/200 (94.5)		931	814	80	37	814/894 (91.1)	0.8407	118	114	3	1	114/117 (97.4)	0.3509		
	Yes	1,823	1,630	123	70	1,630/1,753 (93.0)		—	1	0	0	0/1 (100)		891	815	43	33	815/858 (95.0)			
Antacids	No	1,943	1,744	127	72	1,744/1,871 (93.2)	0.5021	954	831	83	40	831/914 (90.9)	1.0000	988	912	44	32	912/956 (95.4)	0.2246		
	Yes	85	75	7	3	75/82 (91.5)		64	58	5	1	58/63 (92.1)		21	17	2	2	17/19 (89.5)			
Antihistamines	No	1,947	1,748	129	70	1,748/1,877 (93.1)	1.0000	978	855	84	39	855/939 (91.1)	0.7697	968	892	45	31	892/937 (95.2)	1.0000		
	Yes	81	71	5	5	71/76 (93.4)		40	34	4	2	34/38 (89.5)		41	37	1	3	37/38 (97.4)			
antimicrobials	Undescribed <sup>c</sup>	1	1	0	0	1/1 (100)		—	1	1	0	0/1 (100)		0	—	—	—	—	—	—	—
	No	1,785	1,609	112	64	1,609/1,721 (93.5)	0.0971	895	784	72	39	784/856 (91.6)	0.0901	889	824	40	25	824/864 (95.4)	0.6380		
	Yes	243	210	22	11	210/232 (90.5)		123	105	16	2	105/121 (86.8)		120	105	6	9	105/111 (94.6)			
Undescribed <sup>c</sup>	Yes	1	1	0	0	1/1 (100)		—	1	1	0	0/1 (100)		0	—	—	—	—	—	—	—

E: Effective; I: Ineffective; ENP: Evaluation not possible; COPD: Chronic obstructive pulmonary disease.

Efficacy rate (%) = Number of patients in whom the drug was judged as "effective" or "ineffective".

<sup>a</sup>Excluding one patient of unknown age. <sup>b</sup>P value was calculated for weight and diagnosis by the  $\chi^2$  test, and for other variables with data missing in the CRF.

内訳別の有効率は、脳血管障害で93.3%（56/60例）、認知症で86.2%（25/29例）、胃食道逆流性疾患で86.4%（38/44例）であった。

### III. 考察

GRNXは2007年の発売から10年を経過し、呼吸器および耳鼻咽喉科領域感染症に広く使用されているレスピラトリーキノロンである。GRNXは再審査が終了し、承認された効能・効果、用法・用量での有用性が確認された。

今回、再審査申請に使用した4調査の結果を併合し、高齢者におけるGRNXの安全性および有効性を検討した。さらに、レスピラトリーキノロンとして使用頻度の高い肺炎に対する有用性を確認するため、成人肺炎診療ガイドライン2017で、GRNXが第一選択肢に推奨されている慢性呼吸器疾患有する患者に発症した肺炎<sup>13)</sup>および誤嚥のリスクを有する患者に発症した肺炎<sup>13)</sup>に対する有効性についても検討した。

GRNXの4調査における副作用発現率は4.00%（291/7,283例）で、開発時の発現率41.60%（292/702例）と比べ高くなるものではなく、副作用の種類も開発時にみられたものと大きく異なるものではなかった。さらに、高齢者と非高齢者とで副作用の種類および発現頻度に大きな相違はみられなかった。

副作用発現率は高齢者では4.75%（130/2,739例）で、非高齢者3.54%（161/4,543例）に比べて約1%高かったため、その要因を検討した。その結果、高齢者では入院・外来、感染症診断名、投与前の肝または腎機能障害の有無、アレルギー歴（薬剤）の有無、GRNX投与直前の抗菌薬治療または併用抗菌薬の有無別で副作用発現率に有意差がみられた。これらの患者背景のカテゴリー別の副作用発現頻度の相違は、非高齢者でも高齢者と同様の傾向がみられており、これらの発現頻度の高いカテゴリーを有する患者の割合が、高齢者では非高齢者に比べて高かったことが主な要因と考えた。したがって、高齢者では非高齢者に比べて副作用発現頻度が高かった要因は、年齢によるものではなく、上述の入院、肺炎などの感染症診断名などの患者背景によるものであると考えた。

副作用の発現状況、副作用に影響を及ぼす患者背景において、高齢者と非高齢者に大きな相違は認められず、GRNXは高齢者でも大きな問題なく使用

できると考えた。ただし、一般に高齢者では生理機能が低下しているため、患者の一般状態を考慮して投与することは重要である。

高齢者全体の有効率は93.9%（2,345/2,498例）で、いずれの感染症診断名でも91.1～98.7%と90%以上で、非高齢者の有効率と比べて遜色ないものであった。また、患者背景別では入院で89.4%（296/331例）および併用抗菌薬ありで89.6%（189/211例）とわずかに90%を下回ったものの他の患者背景ではいずれも90%以上であった。

高齢者で慢性呼吸器疾患有する患者に発症した肺炎に対する有効率は90.5%（363/401例）、誤嚥のリスク因子を有する患者に発症した肺炎に対する有効率は90.1%（173/192例）と、いずれも良好な結果を示した。他のフルオロキノロン系抗菌薬では、誤嚥のリスク因子のカテゴリーがGRNXとは同様ではないものの、誤嚥のリスク因子を有する患者に発症した肺炎に対する有効率は87.0%（87/100例）で<sup>16)</sup>、GRNXと大きな相違はみられず、成人肺炎診療ガイドライン2017で推奨されている疾患に対するGRNXの有用性を確認できた。

耐性菌発現防止を目指した薬剤耐性（AMR）対策アクションプランでは、PK/PD等の最新の科学的根拠に基づく知見による公的な感染症診療ガイドライン等への反映が謳われており、耐性化抑制の観点からPK/PDに則った用法・用量の薬剤が推奨されている<sup>17)</sup>。日本化学療法学会、日本感染症学会および日本臨床微生物学会による3学会合同サーベイランスで、成人の呼吸器感染症を対象として原因菌に対する感受性が調査され、GRNXの*Streptococcus pneumoniae*および*Haemophilus influenzae*に対するMIC<sub>90</sub>はいずれも≤0.06 μg/mLで、開発時と同様であった<sup>18)</sup>。また、呼吸器感染症由来の臨床分離株の感受性調査でも発売時と比べてGRNXの感受性に変化はみられなかった<sup>19, 20)</sup>。さらに、開発時のデータを用いた解析で、GRNXは早期に臨床症状・所見を改善することが報告されている<sup>21)</sup>。したがって、GRNXは早期に症状・所見を改善でき、MPCもふまえたPK/PD理論に則って通常用量が設定され、原因菌に対する感受性は開発時と変化がみられていないことから、耐性菌発現防止が期待できる薬剤であると考えた。ただし、今後も耐性菌発現防止のために引き続き適正使用に努めることが重

要である。

以上、GRNX はレスピラトリーキノロンとして、呼吸器および耳鼻咽喉科領域感染症の治療において、高齢者に対しても有用性の高い薬剤であることを確認できた。

#### 謝 辞

調査の実施に際し、ご参加いただいた施設の調査担当医師の先生方に深謝いたします。

利益相反自己申告：GRNX は富山化学工業株式会社が製造販売承認を取得し、アステラス製薬株式会社が販売を、大正富山医薬品株式会社が販売提携を行っている。調査は富山化学工業株式会社が企画し、アステラス製薬株式会社と大正富山医薬品株式会社はデータ収集に協力した。著者 高木宏育および松本喜彦は富山化学工業株式会社の社員である。著者 渡辺 彰は大正富山医薬品株式会社より講演料、アステラス製薬株式会社より奨学寄付金を受け取っており、富山化学工業株式会社、大正富山医薬品株式会社などによる寄附講座に所属している。著者 河野 茂は富山化学工業株式会社、大正富山医薬品株式会社およびアステラス製薬株式会社より講演料を、アステラス製薬株式会社より研究助成金を受け取っている。その他の著者は申告すべきものなし。

#### 文献

- 1) 高畠正裕, 福田淑子, 二口直子, 杉浦陽子, 久田晴美, 水永真吾, 他 : Garenoxacin の *in vitro* 抗菌活性。日化療会誌 2007; 55(s-1): 1-20
- 2) 内田英二 : Garenoxacin の臨床第Ⅰ相 : 臨床薬理試験。日化療会誌 2007; 55(s-1): 95-115
- 3) Andrews J, Honeybourne D, Jevons G, Boyce M, Wise R, Bello A, et al: Concentrations of garenoxacin in plasma, bronchial mucosa, alveolar macrophages and epithelial lining fluid following a single oral 600 mg dose in healthy adult subjects. J Antimicrob Chemother 2003; 51: 727-30
- 4) 馬場駿吉, 鈴木賢二, 山中 昇, 夜陣紘治 : 耳鼻咽喉科領域感染症に対する garenoxacin の臨床効果と組織移行性試験。日化療会誌 2007; 55(s-1): 194-205
- 5) 渡辺 彰 : レスピラトリーキノロン系薬最前線, ユニオンエース, 東京, 2009; 6-13
- 6) 藤田次郎, 門田淳一 : レスピラトリーキノロンの使い分け。呼吸器感染症のすべて, 南江堂, 東京, 2009; 268-76
- 7) 黒野祐一, 森山一郎, 茶園篤男, 友永和宏, 大堀純一郎, 松根彰志 : 上気道感染に対するガレノキサシン (GRNX) 投与後早期の治療効果に対する検討。耳展 2011; 54: 49-61
- 8) 望月優一郎, 德丸岳志, 津崎春海 : 成人急性咽頭・扁桃炎患者に対するガレノキサシンとレボフロキサシンの臨床効果に関する比較検討。耳展 2011; 54: 372-9
- 9) 堀 誠治, 牧 展子 : Garenoxacin 錠の使用成績調査。日化療会誌 2011; 59: 495-511
- 10) Izumikawa K, Watanabe A, Miyashita N, Ishida T, Hosono H, Kushimoto S, et al: Efficacy and safety of garenoxacin tablets on bacterial pneumonia: Postmarketing surveillance in Japan. J Infect Chemother 2014; 20: 549-57
- 11) Izumikawa K, Watanabe A, Miyashita N, Ishida T, Hosono H, Kushimoto S, et al: Efficacy and safety of garenoxacin tablets on clinically diagnosed atypical pneumonia: Postmarketing surveillance in Japan. J Infect Chemother 2014; 20: 541-8
- 12) Miyashita N, Higa F, Aoki Y, Kikuchi T, Seki M, Tateda K, et al: Clinical presentation of *Legionella* pneumonia: Evaluation of clinical scoring systems and therapeutic efficacy. J Infect Chemother 2017; 23: 727-32
- 13) 河野 茂, 青木洋介, 今村圭文, 門田淳一, 志馬伸朗, 高橋 洋, 他 : 日本呼吸器学会成人肺炎診療ガイドライン 2017 作成委員会 編, 成人肺炎診療ガイドライン 2017, 日本呼吸器学会, 東京, 2017; 34-48
- 14) 河野 茂 : 呼吸器感染症における新規抗菌薬の臨床評価法(中間報告)。日化療会誌 2010; 58(s-A): 202
- 15) 日本化学療法学会抗生物質臨床評価法制定委員会 呼吸器系委員会 : 呼吸器感染症における新規抗微生物薬の臨床評価法(案)。日化療会誌 1997; 45: 764-78
- 16) 山口広貴, 松本卓之, 内納和浩, 高橋周美, 濱島里子, 椎名晶子, 他 : 高齢者肺炎に対する sitafloxacin の有効性及び安全性の検討 : 誤嚥のリスクとなる基礎疾患の有無による層別解析。臨床と研究 2013; 90: 1927-34
- 17) 厚生労働省 : 薬剤耐性 (AMR) 対策について。 <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120172.html>
- 18) Yanagihara K, Kadota J, Aoki N, Matsumoto T, Yoshida M, Yagisawa M, et al: Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the surveillance committee of Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for Clinical Microbiology in 2010: General view of the pathogens' antibacterial susceptibility. J Infect Chemother 2015; 21: 410-20
- 19) 大西由美, 新村裕子, 戸田宏文, 小松 方, 和田恭直, 三鶴廣繁, 他 : 2015 年に成人より分離された肺炎球菌の各種抗菌薬に対する感受性—2008 年～2009 年との比較—。Pharm Med 2016; 34: 92-8
- 20) 田中知曉, 野村伸彦, 坂本純子, 満山順一, 山本善裕, 太田浩敏, 他 : 中部地方で分離された *Haemophilus influenzae* の感受性サーベイランス (2014 年～2015 年)。Jpn J Antibiot 2017; 70:

- 97-117  
 21) 渡辺 彰, 河野 茂, 小林宏行: ジェニナック錠による呼吸器感染症に対する症状改善効果。

化療の領域 2011; 27: 127-37

## Review of safety and efficacy of garenoxacin based on data from postmarketing surveillance

Hiroyasu Takagi<sup>1)</sup>, Yoshihiko Matsumoto<sup>2)</sup>, Seiji Hori<sup>3)</sup>,  
 Akira Watanabe<sup>4)</sup> and Shigeru Kohno<sup>5)</sup>

<sup>1)</sup> Scientific Information Department, Toyama Chemical Co., Ltd., 4-1 Shimookui 2-chome, Toyama, Japan

<sup>2)</sup> Scientific Information Department, Toyama Chemical Co., Ltd.

<sup>3)</sup> Department of Infection Diasease and Infection Control, Jikei University School of Medicine

<sup>4)</sup> Institute of Development, Aging and Cancer, Tohoku University Research Division for Development of Anti-Infective Agents

<sup>5)</sup> President, Nagasaki University; Emeritus Professor of the Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

The safety and efficacy of garenoxacin (GRNX) was evaluated by combined analysis of the data collected from four postmarketing surveillance studies. Especially the safety and efficacy of the drug in elderly patients were evaluated.

The incidence of adverse drug reactions (ADRs), including of abnormal laboratory values, in elderly patients was 4.75% (130/2,739). The patient demographic characteristics affecting the incidence of ADRs were the inpatient/outpatient status of the patient, diagnosis, presence/absence of liver function impairment, presence/absence of renal function impairment, presence/absence of drug allergy, use/non-use of antimicrobials in advance, and concomitant use/non-use of antimicrobials. However, no specific ADRs were associated with any demographic characteristics in the elderly patients. Neither the types nor the incidence of ADRs differed between elderly patients and non-elderly patients.

The efficacy rate at the end of treatment in elderly patients was 93.9% (2,345/2,498), and exceeded 90% in all cases where the indications were respiratory tract infections or otorhinolaryngological infections. The efficacy rate was 90.5% (363/401) in elderly patients with chronic respiratory tract disease as an underlying disease/complication, and 90.1% (173/192) in patients with the risk of aspiration. The adult pneumonia clinical practice guideline published in 2017 recommends use of respiratory quinolones as the drugs of first choice for the treatment of pneumonia.

These results indicate that GRNX, a respiratory quinolone, can be a useful antimicrobial drug for the treatment of elderly patients with respiratory tract infections and otorhinolaryngological infections.